

琉球大学島嶼地域科学研究所
レクチャーシリーズ
2024年度第1回

学際研究から 読み解く祖先の姿

6月28日（金）13:00~14:30

講演者：波田野 悠夏 先生
（琉球大学島嶼地域科学研究所・客員研究員
東北大学学際科学フロンティア研究所・助教）

現代の日本列島のなりたちを説明してきた「二重構造モデル」という考え方がある。旧石器時代に東南アジアから日本に移住してきた集団（縄文人）が全国で生息するようになり、そこへ北東アジアの寒冷地から移住した弥生人が本州に広がり、縄文時代人と混血したというストーリーだ。この説では人との混血がすすみにくく、縄文人の特徴が色濃く残っているとされてきた。しかし、近年の遺伝解析の結果、沖縄の旧石器時代人は必ずしも縄文、弥生、現代の集団の直接の祖先ではないということが示唆されている。本講演では、演者が専門とする人類学の話を中心に、沖縄から発見された人骨により再考を迫られた日本人の起源の話から、当時の人々の姿や文化を復元する事を目指し他分野の知見と融合させた研究スタイルを紹介する。

講演形式：対面・オンラインハイブリッド形式 ※本研究所関係者以外は、オンライン(Zoom)参加です。

日時：2024年6月28日（金）13:00~14:30

参加費：無料

申込み方法：右記のQRコード、或いは下記URL先のフォームからお申し込みください。

申込みフォーム：<https://forms.gle/YzCJwmaz1Kkj5g5NA>

申込み締切：2024年6月27日（木）正午

※期限までにお申し込みされた方には、参加方法を追ってご連絡いたします。



琉球大学島嶼地域科学研究所